

石小っ子の作法

◎子どもの立場で、表現します（※は「特に気を付けること」、★は「やってほしい！プラス・ワン」を表します）。

礼の仕方

目指す姿：自分の気持ちが、相手に伝わるおじぎをする

◎「礼三息（れいさんそく）」であいさつをします。

【例】「朝のあいさつ」

- 4 息を吸いながら
上体をもどし、
相手の目を見ます。



- 2 息を吸いながら、上体を30度
ほどかたむけます。
3 動作が止まったところで、
息をはきます。
このとき、頭と背すじは、
一直線になります。
手は、前の方に移動します。



おはようございます

- 1 相手の目を見て、
あいさつをします。



歩き方

目指す姿：落ち着いて、ゆっくり歩く

- 玄関や教室の出入口では、特に飛び出したり、走ったりしないようにします。
★教室に入る人と出る人のタイミングが同じときには、入る人は、出る人に「どうぞ」と言ひましょう。
- 廊下や階段は、静かに右側を歩きます。
※1階は、お客様が来たり、会議を行ったりしています。特に静かに歩きます。

入室・退室

目指す姿：礼儀正しい態度と言葉づかいを身に付けて、入室・退室をする

- ドアの外で「トン・トン・トン」と3回ノックをし、戸を開けます。
- その場で、「失礼します」と言い、軽くおじぎ（15度ほど）をします。
- しきいをふまず、一步だけ教室に入ります。
- 「学年・組・名前・用件」を言ひます。
- 用件を伝える先生などから「どうぞ」と言われたら、職員室の後方の中央まで移動します。
- 先生方へあいさつをします（先生方、おはようございます など）。
- 先生に用件を伝えます。
- 用事が済んだら、戸の前に立ち、「失礼しました」と言ひて、軽くおじぎ（15度ほど）をしてから、退室します。

○年○組の□□□□です。
△△先生に、
用事があつてきました。

座り方

目指す姿：姿勢を正しくして座る

- 1 前をまっすぐ見ます。

- 2 手は、ひざの上に、
おきます。

- 3 足は、かかとをゆかに
つけて、そろえます。



- 4 背すじをのばします。

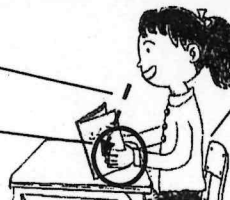
- 5 おなかは、つくえから
にぎりこぶし1つ分、
背中は、いすからにぎ
りこぶし1つ分、はなし
ます。

読み方

目指す姿：本をしっかりと持ち、よい姿勢で読む

- 1 目を、本から30cm
はなします。

- 2 本の下の方を両手で
持ちます。



- 3 背すじをのばします。

※全員が読む姿勢になってから、読み始めます。
※聞く人に内容が伝わる声で、読みます。
◎立って読むときも、同じような姿勢です。

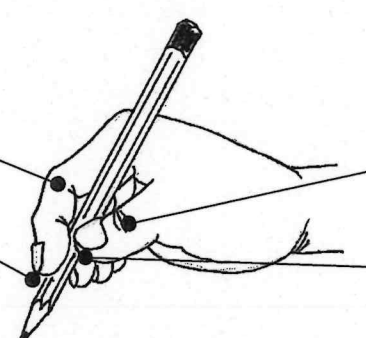
書き方

目指す姿：鉛筆を正しく持ち、よい姿勢で書く

◎基本的な姿勢は、「座り方・読み方」と同じような姿勢です。

- 1 紙の中心に、おへその中心をそろえます。
- 2 えんぴつを持たない手は、机の上に軽く置きます。
- 3 背筋を伸ばします。

【えんぴつの持ち方】

- 1 人差し指に、力が入りすぎないようにします。
 - 2 えんぴつのけずりぎわの少し上を持ちます（1cm上）。
 - 3 親指は、強く曲げないようにします。
 - 4 親指の先が、人差し指より下がらないようにします。
- 

話し方

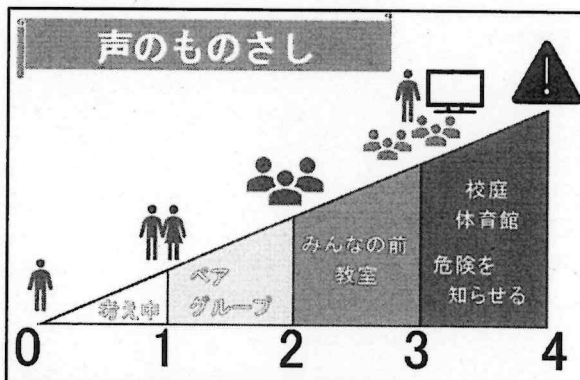
目指す姿：相手や場に合った話し方をする

- 1 友達の名前を呼ぶときには「さん」を付けます。
- 2 先生を呼ぶときには、「〇〇先生」と言います。
- 3 目上の人と話をするときには、敬語を使います。

※学校で目上の方は、先生です。先生に敬語を使って話すことで、目上の人との話し方を身に付けましょう。

【敬語の例】

言う→おっしゃる	いる→いらっしゃる
する→なさる、される	来る→おいでになる
	お見えになる
見る→ごらんになる	くれる→くださる
食べる→めしあがる	聞く→お聞きになる
	聞かれる
借りる→お借りになる	話す→お話になる
	借りられる
取る→お取りになる	思う→思われる
	取られる



そうじ

目指す姿：道具の正しい使い方を身に付けて、そうじをする

1 ほうきの使い方

- (1) ほうきの穂先は、ゆかからなるべくはなさないようにはきます。
※ほうきは、モップのように押したり引いたりして使いません。
- (2) 木目にそって、はきます。
- (3) ごみは、1か所に集めて、小ぼうきとちりとりで取ります。

2 はたきの使い方

- (1) 床をはく前に、使います。
- (2) 上のほこりを落とします。

3 ぞうきの使い方

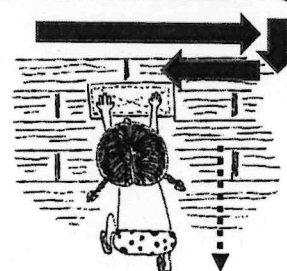
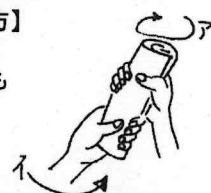
- (1) しぼったぞうきは、二つ折りにして使います。
そうすると、ぞうきは、4面使うことができます。
- (2) 木目に沿って、両手でふきます。
- (3) きれいになったところを汚さないように、後ろに下がりながらふきます。
- (4) バケツの水は、あまり汚れないうちに交換します。

4 そうじをするための準備

- (1) 机は持ち上げて運びます。重い場合は、友達と協力して運びます。
- (2) 机以外にも、そうじをするときには、物を移動します。

【ぞうきのしぼり方】

- ※にぎる手は、上下反対になってもよいです。
※矢印の方向に、しぼります。



【ぞうきの使い方】